

北関東三十六不動尊霊場第二番札所  
成田不動尊・水かけ不動尊奉安

天台宗金剛院  
仁王門落慶開眼法要

記念アルバム



平成21年9月10日 巖修





沼田の金剛院

# 安全見守る仁王門完成

きょう  
開眼式

## 住職ら像に入魂

沼田市坊新田町の金剛院(伊藤亮祐住職)の仁王門と、安置される仁王像が出来上がった。10日に落慶開眼式を行い、寺と参拝者の安全を守る門の完成を祝う。

仁王門は、伊藤住職(75)の長年の夢だったという。一昨年に総本山の比叡山延暦寺(大津市)から大僧正に任命された記念として、自身で建立しようと企画。檀家有志50人が、総工費約4000万円のうち、500万円を寄付した。

仁王門は、山門を改築した。一对の仁王像は木曾ひのき造りで、高さ2・7層。内部に經典と阿弥陀如来、不動明王の像を一体ずつ

▲完成した仁王門と伊藤住職

納めている。前橋市元総社町の仏像愛好家、近藤晃さん(80)が協力し、2年かけて彫り上げた。

落慶開眼式は、檀家や近藤さんから60人を招待。近隣の寺の住職17人の読経で仁王像に魂を込める。伊藤住職は「長年の夢がかない、ありがたい気持ちでいっぱいだ」と完成を喜んでいいる。





仁王尊造顕者近藤晃先生ご夫妻と伊藤亮祐住職・亮朝副住職



近藤先生ご夫妻・伊藤住職・設計高宮健吾氏・大工棟梁星野吉利氏





金剛院仁王門落慶開眼法要

平成二十一年九月十日



打ち合わせの様子



全員そろったところで会行事  
(えぎょうじ) 副住職が出仕  
のお礼と式の流れを言上する。







本番直前の様子

大導師の衣体は緋色の袍裳と七条袈裟が着用された。





本堂前に列立



衣の色は僧階により異なる。

会行事が式次第を言上。







法要会場の整備終了





お経（梵唄）を唱え  
ながら入場







大導師・住職が入場  
着席



- 出仕寺院 (左側)  
 金剛院 (富岡)  
 長寿院 (部内)  
 華蔵院 (〃)  
 延命寺 (〃)  
 三光院 (〃)  
 萬福寺 (前橋)







用意万端を整え式進行を  
司る

|     |          |
|-----|----------|
| 会行事 | 副住職      |
| 承仕  | 正福寺 (部内) |
| 〃   | 善光寺 (前橋) |
| 〃   | 萬福寺嗣 (〃) |







出仕寺院（右側）  
 延命院（部内）  
 禅定院（〃）  
 竜泉寺（〃）  
 自性寺（〃）  
 遍照寺（〃）  
 靈山寺（下仁田）







落慶開眼式には唄散華  
(ばいさんげ) 法要が  
行われる。





声明（しょうみょう）梵唄が流れる中、大導師は密教により阿吽仁王尊の開眼作法を修す。







開眼作法中の大導師







右より  
 萬福寺 (前橋)  
 三光院 (部内)  
 延命寺 (〃)  
 華蔵院 (〃)  
 金剛院 (富岡)

左より  
 靈山寺 (下仁田)  
 遍照寺 (〃)  
 自性寺 (〃)  
 竜泉寺 (〃)  
 禅定院 (部内)





大導師が表白文を読み  
仁王門落慶の趣旨を神  
佛に言上する。



散華（はすの花びら）が  
まかれて道場を荘厳する。







法要もつつがなく終了

会行事により閉式の言葉



大導師の祈念





式が無事終了し、上座より元の本堂前へ戻る。





開眼式列席の各位





# 仁王門新装及び仁王尊安置寸描



仁王門正面



仁王門を鐘楼方向に見る



仁王門の提灯(正面)



仁王門の提灯(境内側)





工房より仁王尊が到着し安置しているところ（平成20年12月22日）





金剛力士・阿形



金剛力士・吽形

腕の取り付け部に発注者名、造頭者名などが記されている



安置を終える





仁王尊を無事に安置し  
終えて安堵する関係者



出来映えを喜ぶ右から亮祐  
住職・近藤先生・亮朝副住  
職（中央の3人）







阿形(上) と 吽形(下)





金剛院に永久のご守護あらんことを



阿形（右）と吽形（左）



ライトアップされた仁王門の夜景





# 改築前の山門の面影



(上) 正面 (下) 境内側







## 天台宗金剛院

住 職 伊藤亮祐

副住職 伊藤亮朝

撮影:アゾ写真・新木正二氏

アルバム作成:須藤充